

福島第一原子力発電所の状況

平成 27年3月 30 日
東京電力株式会社

<1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (3/30 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約2.0 m ³ /h	15.9	3.5 kPa g	A系： 0.01 vol%
		給水系：約2.5 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約2.5 m ³ /h	21.6	6.31 kPa g	A系： 0.09 vol%
		給水系：約2.0 m ³ /h			B系： 0.07 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約2.4 m ³ /h	19.0	0.21 kPa g	A系： 0.08 vol%
		給水系：約1.8 m ³ /h			B系： 0.08 vol%

<2. 使用済燃料プールの状況> (3/30 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	16.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	30.1 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	24.5 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	11.6 °C

※ 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘビドラジンの注入を適宜実施。

<3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況>

号機	排出元	→	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	3/26 10:14 ~ 移送実施中

4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (3/30 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設 備(ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	運転中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運 転	水バランスを みて断続運 転	ホット試験中*2	ホット試験中*2	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

<5. その他>

- ・H27/2/5 ~ 3号機海水配管トレンチの閉塞を目的とした閉塞材料の充填作業を開始。
- ・H27/2/14~ 4号機海水配管トレンチの閉塞を目的とした閉塞材料の充填作業を開始。
- ・H27/2/24~ 2号機海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を開始。
- ・H26/6/2~ 陸側遮水壁工事を開始。
- ・H27/3/16~ 1号機原子炉建屋カバー解体工事に向けて準備工事を開始。

・地下水バイパス一時貯留タンクグループ3の当社および第三者機関による分析結果[採取日 H27/3/19]については同等

の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認。H27/3/30 10:23、海洋への排水を開始。同日 10:28 に漏えい等の異常がないことを確認。

・H27/3/29 20:35 頃 福島第一原子力発電所免震重要棟から西側へ向かう道路脇の側溝付近において、側溝内から煙が出ているとの連絡が緊急時対策本部にあり。同日 20:39 に双葉消防本部へ連絡し、20:43 に火元確認のため、当社社員(火元確認者)が現場へ出向するとともに、20:46 に自衛消防隊に対して現場への出動を要請。現場に到着した当社社員(防護本部員)によって、同日 20:57 頃から消火器を用いた初期消火を開始。21:01 に当社社員(火元確認者)が現場へ到着して確認したところ、側溝上に敷いてある鉄板の隙間より発煙があることを確認。21:26、発煙は停止。21:45 からの公設消防による現場確認においても発煙がないことを確認。なお、公設消防については、22:10 に発電所構内から退構。

その後、当社にて側溝上に敷いてある鉄板を退けた上で側溝内を確認したところ、側溝内を通っている複数のケーブル・ホース類が約5mの範囲で損傷していることを確認した。

また、発煙が発生したこととの因果関係は不明だが、同日 20:05 頃、5、6号機にある起動用変圧器にて地絡警報が発生。直ちに関連パラメータを確認したところ、電圧に異常がないことを確認済。20:41 に発電所構内の水処理建屋*へ供給している電源のしゃ断器を開放したところ、地絡警報は解除。

*: 発電所構内で使用するろ過水を作るための建屋であり、汚染水は扱っていない。

発煙の発生に伴う発電所構内ダストモニタおよびモニタリングポストの指示値に有意な変動はない。

また、同日 21:30 時点において、現場周辺のダスト放射能濃度を測定したところ、検出限界値未満(検出限界値: $8.2 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$)であった。(現場周辺の霧囲気線量は $5 \mu \text{Sv/h}$)

発煙および地絡警報の発生により、現時点で関連パラメータに異常はなく、けが人等は確認されていない。

H27/3/30 側溝内を通っている複数のケーブル・ホース類について、現場調査の結果、9本のケーブル・ホース類が通っていることを確認。確認したケーブル・ホース類については、以下の通り(残りの3本のケーブル・ホース類については、現在調査中)。

- ・原子炉注水用ホース(仮設消防車用)1本
- ・使用済み燃料プール補給用ホース(非常用)2本
- ・No. 1, 2純水タンク補給水用電動弁ケーブル 1本
- ・No. 1, 2純水タンクレベル計監視用電源ケーブル 1本
- ・水処理メタクラ(A系)用電源ケーブル 1本

また、5、6号機の起動用変圧器5SA-2において発生した地絡警報は、水処理メタクラ(A系)用電源ケーブルが損傷したことにより発生したものと推定。

今後、発煙の原因調査を行うとともに、損傷したケーブル・ホース類の応急措置等の検討を行う。

【地下水バイパス揚水井の状況】

・地下水バイパス揚水井 No.1~12 のサンプリングを継続実施中。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<H6エリア周辺のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<地下水観測孔サンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<地下貯水槽サンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。